

そうだったのか!
意外と知らない

クルマの安全ガイド

運転するとき

[ABS 作動中]

ブレーキペダルを しっかり踏み、危険回避を！

ABSは、ブレーキ操作中にタイヤがロックすることを防ぎ、ハンドル操作で危険を回避する装置。ABSを確実に効かせるためには、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けることが重要。



ABS 作動中はしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、ブレーキペダルを踏んだ時に車輪がロックするのを防ぎ、ブレーキ制動力を維持しながら、車体姿勢とハンドル操作性を保つ装置です。ABSを確実に効かせるためには、しっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。

For Safety

安全のポイント

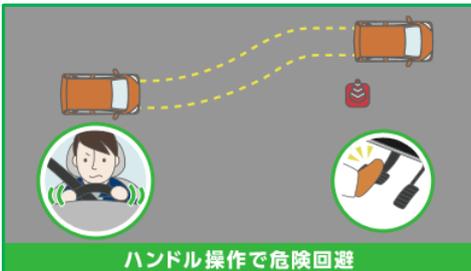


POINT 01

ブレーキペダルをしっかりと踏み続ける。

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだ時に車輪がロックするのを防ぎ、ブレーキ制動力を維持しながら、車体姿勢とハンドル操作性を保つ装置です。ABSを確実に効かせるためには、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABS 作動中は、ハンドルやブレーキペダルに振動を感じたり、ABS の作動音が聞こえたり、ブレーキペダルが固く感じるがありますが、異常ではありません。



POINT 02

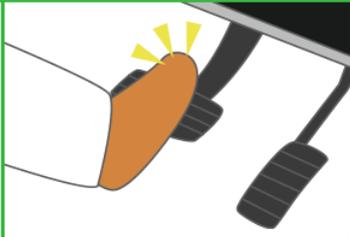
制動距離が短くなるとはかぎらない。

ABSは、ブレーキ操作中の車体安定性を確保するための装置です。必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABSを過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

つぎのような場合は、ABSの付いていないクルマに比べて制動距離が長くなる場合があります。

- ・砂利道や深い新雪路を走行する時
- ・タイヤチェーンを装着している時
- ・道路の継ぎ目や段差を乗り越える時
- ・凸凹道などの悪路を走行する時





ABS警告灯が点灯してもブレーキは効く

POINT 03

ABS 警告灯が点灯していても 普通のブレーキは効く。

ABS 警告灯が点灯した状況では、ABS は作動しませんが、普通のブレーキは効きます。急ブレーキや高速走行を避け、すみやかに安全な場所にクルマを止めてください。

エンジンを停止し、再度エンジンをかけます。その後しばらく走行して ABS 警告灯が再点灯しなければ異常はありませんが、しばらく走行しても消えない時は、販売会社で点検を受けてください。

三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

オープン時間：9時～17時（土日祝・弊社休日 9時～12時・13時～17時）

※050～で始まる番号など、一部の IP 電話からはつながらない場合がございます。